

みさと 市議会だより

春まわり



議会は市の
No. 177
2019年5月15日号

発行 埼玉県三郷市議会
年4回発行

まじり関係



春のメロディにのせて♪

主な内容 平成31年3月定例会

- ・ 論点「振り込み詐欺等の被害防止に関する条例を可決」・・・2
- ・ 平成31年度予算の審査概要・・・4
- ・ 市政に対する一般質問・・・8
- ・ 3月定例会提出議案とその結果・・・14
- ・ 議会あれこれ・・・15
- ・ 読者の声・・・16

三郷市振り込め詐欺等被害防止決起大会



交通防犯フェアで決起大会

論点

わたしたちで防げよう！振り込め詐欺

3月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案がどのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

3月定例会には、市長から「三郷市振り込め詐欺等の被害防止に関する条例」など19議案が提出され、原案どおり可決しました。

3月定例会
3/1～25

議案第8号 三郷市振り込め詐欺等の被害防止に関する条例

〈内容〉

市全体で振り込め詐欺被害の防止や被害者を支援するための必要な事項を定め、安心かつ安全な生活の確保に取り組めるよう、条例を制定するものです。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 パブリック・コメント等での市民の意見は。

答 6件の意見提出があり、主な内容としては、被害防止の啓発に関する手法についての提案があった。

問 埼玉県内での条例の制定状況は。

答 県内では、三郷市が初めての条例制定となる。全国でも市町村レベルでは3番目である。

問 この条例をつくるにあたって、三郷市ではどのような被害があったのか。調査などは行ったのか。

答 ふだんから密接な連携を図っている吉川警察署の調べでは、全体としては犯罪被害、犯罪認知率が徐々に下がっている状況にあるが、振り込め詐欺については、年々被害が増えている。平成27年には14件、被害金額が約2600万円だったのが、平成30年には37件、約4800万円となっている。このような状況の中

まずは条例をつくり、市民など一丸になって犯罪を減らしていきたい。

問 第8条第2項に「相談等を受け付けるための窓口を設置する」とあるが、設置場所は。

答 交通防犯課において総合窓口を設置し、担当部署につないでいく。

●「振り込め詐欺」市内の被害状況（※吉川警察署調べ）

	被害件数	被害金額
平成27年	14件	2,626万円
平成28年	19件	4,415万円
平成29年	21件	4,549万円
平成30年	37件	4,868万円

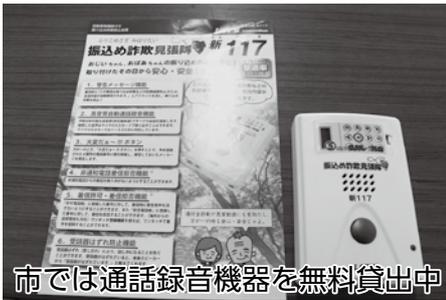
（※平成30年：暫定値）

被害件数及び被害金額は年々増加している。





三郷市PR大使Mika+Rikaさんも被害防止を呼びかけ



◀65歳以上の高齢者世帯が対象

市では通話録音機器を無料貸出中

▼「振り込め詐欺」パターンは4つ！

その1	家族や警察官などに なりすます	「オレオレ詐欺」 <small>おれおれさぎ</small>
電話で家族や警察官などになりすまし、交通事故や痴漢行為、借金などのトラブルを解決しますと偽って、現金を振り込むよう要求します。		
その2	ありもしない 請求をする	「架空請求詐欺」 <small>かかくせいきゅうさぎ</small>
インターネットの有料サイトの利用料や情報料、登録料などの請求などをでっち上げ、はがきや電子メールを送りつけ現金の振り込み等を要求します。		
その3	融資をだしに お金をだまし取る	「融資保証金詐欺」 <small>ゆうしほししょうきんさぎ</small>
多重債務者の弱みにつけ込み「担保・保証人なしで高額融資できる」、「多重債務を一本化します」などと偽りの勧誘を行い、申込者に保証金や手数料など現金の振り込みを要求します。		
その4	医療費や税金の 払い戻しがあると偽り お金をだまし取る	「還付金等詐欺」 <small>かんぷきんとうさぎ</small>
年金事務所や税務署、市役所の職員などになりすまし「年金や税金の払い戻しがあります」などと偽って、コンビニやスーパーなどにある無人のATMに誘い出し、操作をさせて現金を振り込ませます。		



【市民等の責務】

- 1、市民等は、被害防止のための学習の機会を主体的かつ積極的に活用し、被害防止に自ら努めるものとする。
- 2、市民等は、市が実施する被害防止に関する施策に協力するとともに、事業者が市民等に対し被害防止に関する注意を喚起したときは、これを踏まえた上で、適切な行動をとるよう努めるものとする。

(三郷市振り込め詐欺等の被害防止に関する条例一部抜粋)

問 窓口では、金銭的な被害を受けなかった場合でも、電話により恐怖感などを持ってしまったかたの心の被害について相談できるのか。

答 犯罪予兆電話で恐怖感を持ってしまったかたなどメンタル的な相談や、心の対策については、福祉の総合窓口と連携を図る。

問 交通防犯課と消費生活相談センターとの連携は、どちらで相談を受けても

問 連携して対応を行う。

問 相談窓口があることを市民などにはどのように周知するのか。

答 市民などへの周知については、広報やホームページなどを活用し、積極的に行いたい。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成で可決しました。

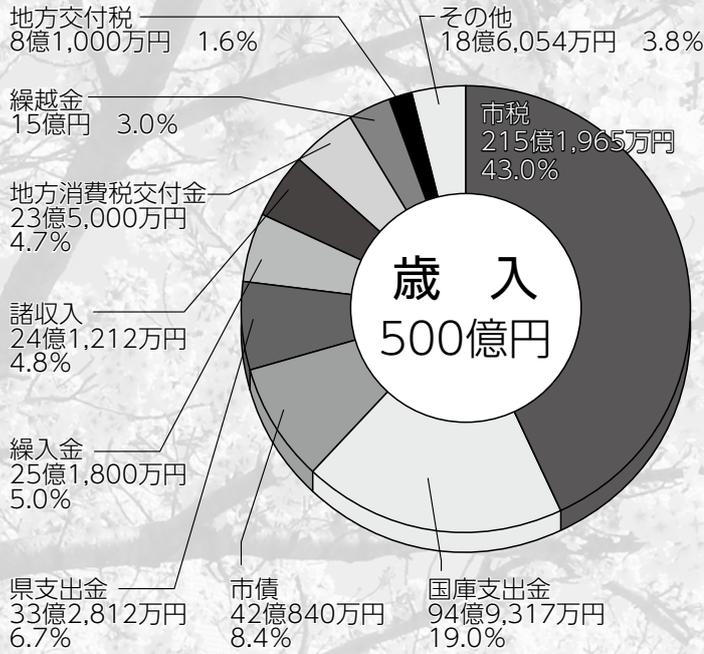
問い合わせ
⇒交通防犯課
(犯罪被害者支援総合的対応窓口):
☎(930)7817
●三郷市消費生活センター
ところ: 市役所本庁舎 2階
でんわ: (930)7725
●吉川警察署
ところ: 上彦名114番地 3
でんわ: (958)0110

困ったときの
相談窓口



平成31年度一般会計予算500億円

12年連続で前年を上回り、事業を拡充



歳入区分	説明
市 税	市民税、固定資産税など
国 庫 支 出 金	特定の事業に対して国から交付
市 債	市が長期にわたって借りるお金
県 支 出 金	特定の事業に対して県から交付
繰 入 金	基金からの繰り入れ
諸 収 入	学校給食納付金、雑入など
地方消費税交付金	県の地方消費税収入の中から交付
繰 越 金	前年度一般会計からの繰り越し
地 方 交 付 税	財政状況に応じて国から交付
そ の 他	分担金及び負担金、使用料及び手数料など

3月定例会では、平成31年度の三郷市のまちづくりの基本となる予算を審議し、可決しました。一般会計予算は、前年度に比べ39億円（8.5%）の増額となる500億円で、12年連続で前年度を上回る予算となります。

議案をくわしく審査するために関われた、総務・市民福祉・文教経済・建設水道の各常任委員会での平成31年度予算に関する質疑・討論の要旨をお知らせします。

※3月定例会初日に市長から施政方針の表明がありました。



木津雅晟 市長

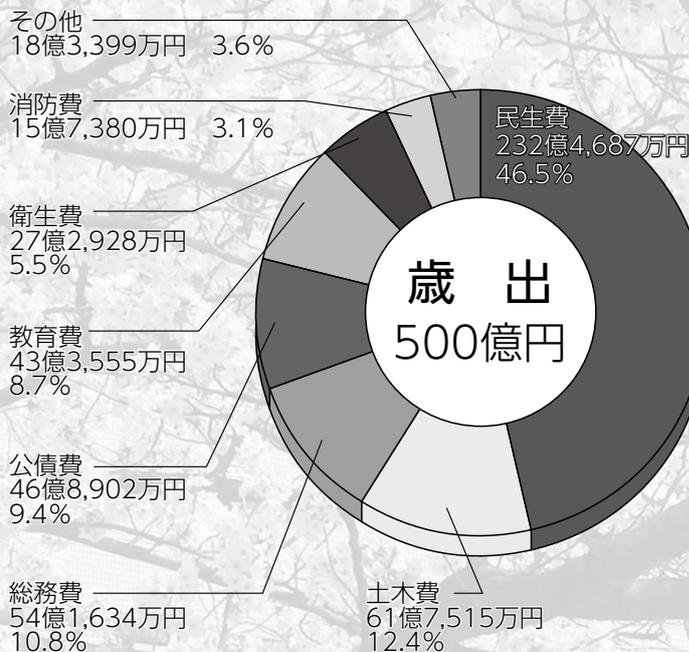
平成31年度 施政方針

ふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり

我が国では、人口減少と少子高齢化により、多くの自治体において、その対策が課題となる中、本市におきましては、若い世代を中心とした転入などがあり、人口増加が続くとともに、企業進出も相次いでいるところでございます。

本市の更なる発展に向け、平成31年度につきましては、最重点施策として「災害に強いまちづくり」「拠点整備」「国際色豊かなまちづくり」の3つを、また、重点施策として「赤ちゃんから高齢者までの健やかライフの充実」「学びとスポーツのまちづくり」「元気な地域づくり」の3つを位置づけ、各施策を着実に推進してまいります。

今後におきましても、常にスピード感を持ち、市民感覚と経営感覚を大切にしながら、「ふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり」を進めてまいります。



歳出区分	説明
民生費	高齢者、児童、障がい者などの福祉事業費など
土木費	道路や河川、公園整備など
総務費	防災や防犯、マイナンバーカード交付、市税の課税徴収など
公債費	市債の返済金
教育費	学校教育費、「日本一の読書のまち」推進事業など
衛生費	ゴミの収集や予防接種など
消防費	消火・救急活動など
その他	議会費、商工費、農林水産業費など

◆平成31年度の主な事業◆

- ◎災害に備えた河川改修・排水対策事業
(大場川下流排水機場増強／雨水排水対策／下第二大場川の改修)
- ◎事前の災害対応力醸成事業
(体育館エアコン整備／福祉避難所や災害備蓄品の整備／災害時情報発信／ブロック塀の安全対策)
- ◎(仮称)三郷流山橋の早期整備及びスマートIC整備事業
(三郷料金所スマートIC整備推進／地域拠点基盤の整備／まちづくり基本構想検討)
- ◎南部地域の拠点整備事業
- ◎みさと団地エリア多世代交流複合施設整備事業
- ◎ホストタウンとしてのギリシャ交流事業(キャンプ誘致、友好都市締結)
- ◎国際化に向けた人づくり事業
(オリンピック・パラリンピック対応英語力の育成／市民大学の充実)
- ◎妊娠期から子育て期にわたるサポート事業
(子育て支援ステーションの充実／未就園児等全戸訪問)
- ◎安心して働けるパパ・ママの応援事業(保育所等整備の推進／幼稚園預かり保育等の充実)

◆常任委員会の審査概要（一般会計）

消防団の紹介動画を

作成

《総務常任委員会》

住居表示事業については、前年度より増額となった。三郷インター南部南の土地区画整理事業の進捗状況に合わせ、町名等を変更する必要がある、その準備作業にかかる委託料を計上している。

消防団維持事業では消防団の仕事等を紹介する動画を作成し、市内各企業に伺い、入団促進を行う。

消防車両・救急車両機器整備維持事業では、圧縮空気泡消火装置を搭載した化学消防車を購入することとした。そのほかホストタウン推進事業などについて審議しました。

討論として、「地方交付税のトップランナー方式は、公的サービスを民間委託や指定管理者制度へと転換をせまるものであり、国に廃止を求めざるべきである（反対）」などがありました。



操法訓練をする少年消防クラブ

高まる保育ニーズに 対策方針を

《市民福祉常任委員会》

すこやか課事務では、保育料の無償化により保育ニーズが高まると想定されており、認可保育所の公募の際には、無償化による影響を見越して定員を設定している。正確な数の見込みは、現在策定中の平成32年度から計画年度とする「みさとこどもにこころプラン」の中で需要を改めて算出し、利用定員枠の確保策を立てていく。

生活保護事業について、1月末の時点で被保護世帯は1917世帯、被保護人員は2575人、高齢者世帯の割合は58.3%である。傾向として、高齢者の受給ケースが増えていることから、医療扶助費が特に増加している。

個別予防接種事業について、成人男性に対する風疹の抗体検査・予防接種を行う。対象者は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた40歳から57歳の男性となる。働いているかたが多いため、対象の指定医療機関であれば、市内に限らず日本全国どここの医療機関でも抗体検査と予防接種が無料で受けられるようになっていくとのこととした。

討論として、「幼児教育・保育の無償化が実施されるものの給食費の自己負担が新たな問題となる。子育て支援事業では、子育てに困難を抱えている家庭を早期に見見・支援し、医療的ケア児への支援も充実させる必要があることから反対する」などがありました。



子育て支援ステーションほほえみ

ふれあい型農業推進 いちご園がオープン

《文教経済常任委員会》

ふれあい型農業推進事業では、これまでの「みかん」「ぶどう」「ブルーベリー」に加え、新たに「いちご」を始める観光農園がある。

市民大学事業では、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に関連し、市民のかたが、外国のかたへ道案内などができるように、ネイティブな発音ができる講師を迎え英会話講座「みさとレッツ！イングリッシュユカレッジ」開催を考えている。

洪水ハザードマップ策定事業では、「水害ハザードマップ」として改定を行った。日本語版については、今年3月に全戸配布し、外国語版については、新年度、ホームページ上に掲載することとした。

討論として、「プレミアム付商品券事業は、消費税増税を見越した予算を前提としている点や、地球温暖化対策を推進する予算が少ない点から反対する」などがありました。

平成31年度

特別会計予算

5つの特別会計予算は、各常任委員会で審査し、本会議において可決しました。

国民健康保険 歳入歳出 145億3,520万円

【保険者努力支援分は計上方法を変更】

審査では、県から交付される保険給付費等交付金の保険者努力支援分について、平成31年度は予算上、本来の部分と分割して計上している部分もあり、減額となっているとのことでした。

討論として、「今年度のみ減免経過措置が終了することで増額となる世帯が生まれる。一般会計からの繰り入れを継続して保険税額の引き下げを求め、反対する」などがありました。

介護保険 歳入歳出 92億4,687万円

【徘徊高齢者対策としてQRコードシールを配布】

審査では、認知症総合施策事業について、徘徊高齢者等SOSネットワーク事業委託として、衣服やキーホルダーにつけて利用してもらうQRコードがついたシールを配布することでした。

討論として、「介護保険料の滞納により、給付制限のペナルティを受けているかたが少なくないことから、反対する」などがありました。

後期高齢者医療 歳入歳出 14億5,412万円

【保険料軽減の特例措置の廃止による影響は】

審査では、保険料軽減の特例措置の廃止によって影響を受けるかたは、9割から7割軽減になるかたが3,255人、8.5割から7割軽減になるかたが3,010人である。8.5割から7割軽減になるかたは、国が補てんするため平成31年度は影響がないとのことでした。

討論として、「低所得者の保険料の特例措置を段階的に引き下げる内容が含まれ、高齢者に新たな負担が押し付けられることになるため、反対する」などがありました。

上水道事業 収入 37億5,980万円
支出 42億8,326万円

【配水管整備事業の内容は】

審査では、新年度の配水管整備事業は、管種変更が3.6km、石綿セメント管の布設替が2.0km、早稲田地区の老朽管布設替が1.0kmなどを予定しているとのことでした。

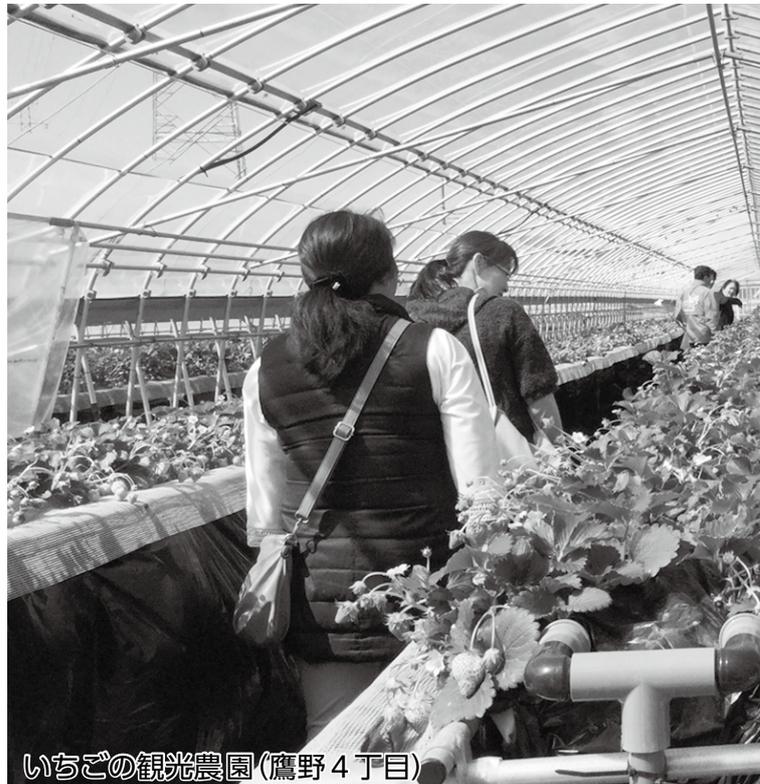
討論として、「分担金は、収益的収入とするべきである。水道料金に跳ね返る恐れがあり反対する」などがありました。
※上水道事業の収入・支出は、収益的および資本的収入・支出の合計額です。

公共下水道事業 歳入歳出 50億5,697万円

【下水道事業の災害時対策】

審査では、公営企業会計への移行について、近隣5市1町は平成32年度から、県内では4市以上が移行済であるとのことでした。

討論として、「一般財源を自治体の裁量によって繰り入れができる、特別会計方式を継続すべきであり、反対する」などがありました。



いちごの観光農園(鷹野4丁目)



大場川下流排水機場

**道路台帳システムを
統合型GISに切り替え**

《建設水道常任委員会》

新年度は、道路台帳システムを統合型GISに切り替える。個別の台帳システムを統合し、情報の一元化を図ることによって、維持管理費も削減できるメリットがある。

ブロック塀等の安全確保事業は、10件分で500万円を計上している。今後、所有者に対する戸別訪問やホームページなどにより制度を周知することとした。

そのほか、大場川下流排水機場ポンプ増強事業や、おどり公園の改修事業などについて審議しました。

討論として、「三郷IC南部南区画整理事業が終わらないうちに、(仮称)北部地区土地区画整理事業が進められようとしており、反対する」などがありました。

最終結論を出す本会議では、各常任委員長から審査報告がなされ、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。



市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

鳴海 和美	佐藤 睦郎	村上香代子	柴田 吾一
加藤 英泉	柳瀬 勝彦	佐々木 修	野村 浩之
鈴木深太郎	稲葉 春男	佐藤 裕之	渡邊 雅人
工藤智加子	深川 智加	佐藤 智仁	菊名 裕

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、4日間にわたり16人の議員が活発な論戦を展開しました。

※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

防災運動会の実施は

議員

楽しみながら防災を学ぶことを目的に、防災活動を競技として行う「防災運動会」を行う自治体が増えている。運動会では水をボールにかえたバケツリレーや、毛布で担架をつくり負傷者を運ぶゲームや、「防災クイズ」等が行われている。いつ起こるかかわからない災害に対し、防災は今や生活の一部となってきた。「楽しみながら行う」ことは大事な視点である。より多くの市民の防災力向上のため、様々な世代が参加できる防災運動会を行うことは有効である。例えば、市民体育祭の競技に防災競技を加えることはできないか。

市長

防災運動会は、総合防災訓練を補完し、地域防災力のさらなる向上を目的としたひとつの手法として有効であると考えます。防災の要素を取り入れた競技を市民が多く参加するスポーツイベントに取り入れる等、様々な視点から検討し、関係機関と協議していく。

環境安全部長

防災運動会の実施



防災訓練の様子

については、防災活動の活性化に向けた他自治体の事例として、自主防災会に紹介するとともに、必要な資機材の貸し出し等を行う。

その他の質問

子育て支援問題。

離婚後の

子どもの養育支援を

議員

未来の宝である子どもが、家庭の事情に関わらず、健やかに育っていきける環境が作られることが重要である。離婚の際には、子どもの幸せを最優先に考え、養育費などの取り決めを行うことが望まれるが、十分な話し合いをしな

いまま協議離婚をするケースも多い。そこで、離婚後の子どもの養育支援として、養育費などの取り決めの意義や具体的な方法などの情報提供を行うとともに、相談窓口を設置することについて伺う。

子ども未来部長

現在、専門の相談窓口はないが、子ども支援課において、経済的支援となる児童扶養手当やひとり親家庭等医療費の申請受付、就業支援となる母子家庭等自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の案内を行うほか、ひとり親家庭のかたからの相談を受けている。離婚後の子ども養育支援の相談は、個別専門的で多岐にわたる対応が必要であり、生活面や精神面などの支援についても関係機関との連携協力を含め、調査研究していく。

その他の質問

まちづくり問題。



男女共同参画の推進を

議員

①女性議員の数が諸外国に比べ著しく少ない我が国の現状に鑑み、候補者男女均等法とも言われる「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が昨年施行された。自治体の責務が明記されているが、どのように考えているのか。

②男女共画参画プランは目標年度が平成32年度と迫っているが、数値目標の現状値と対応について。③男女共同参画の拠点施設が必要だが、整備についての考えを伺う。

企画総務部長

①政治分野における男女共同参画の推進について、法律の周知を図り、関心と理解を深めるよう啓発を行う。②男女共同参画



三郷市には4人の女性議員が在職

プランの数値目標値については、市の審議会の女性委員や市役所の係長職の女性の比率が、いずれも策定時よりは上昇している。また、女性相談件数も増えている。③「配偶者暴力支援センター」の設置に向け準備を進めている。また、今夏オープンする三郷中央におどりプラザにポスターやリーフレット、行事予定などをお知らせする情報コーナーを設置し、理解促進につなげたい。

その他の質問

福祉政策。

日本一の読書のまち三郷推進計画や学校プール等のあり方は

議員

①日本一の読書のまち推進計画が、実施より3年経ち次期計画の策定がスタートしようとしている。当初掲げた重要施策の進捗状況と課題は。②学校プールのあり方について、施設の老朽化対策や先生がたの働き方改革、さらにライフサイクルコストの観点から、学校プールの廃止と水泳授業の民間委託を検討する自治体が増えているが、本市の考えは。③市南部に新たなランドマークとして、防災機能やコミュニティ機能を兼ね備えた「市民温水プール」の設置を検討してほしい。

学校教育部長

①学校図書館の蔵書数及び、1か月の児童生徒の読書量ともに推進計画に定めた目標値に近づいている。平成31年度は段階的に図書資料の廃棄基準を定め、さらなる質の向上を図っていきたい。②授業の実施は、学校の教員が指導計画の立案と評価をする必要がある。また、民間のプールを利用する場合は、移動時間が必要となるため、教育計画の作成に大きな制約となるなど、課題が多く現時点では難しい。

企画総務部長

③導入する機能の規模や敷地の大きさを考慮し、検討事項として情報収集していく。

公共交通不便地域対策とさらなる市民サービス向上のために

議員

鉄道駅より半径1km以遠、バス停より半径300m以遠を公共交通空白地域、また、路線バス30本未満の地域を公共交通不便地域としている。抵抗感がなく、無理なく歩ける距離は、健常者で300m、高齢者で100m、時間にして約3・5分とされている。市民アンケートの結果から、通学の若年層や高齢者、いわゆる交通弱者ほど移動

に制約を受け、高齢になるほど将来の外出に不安を抱えており、通勤者も含めた公共交通空白地域や不便地域解消の対応・取り組みを求め。また、彦成通りを通るバスの減便や途中で打ち切られた路線の復活を要望するとともに、市民サービスの向上のためにコミュニティバスや乗合タクシーの運行を考えるべきでは。

市長

超高齢社会を迎え、市民の移動手段の確保や、利用者目線に立った公共交通ネットワークの構築は、生活の質的向上を図る上でも重要な課題である。割引制度の導入も含め、地域公共交通活性化協議会での議論を継続しつつ、他自治体での事例等を研究していく。

その他の質問

まちづくり問題。



三郷中央駅バスターミナル

「おどりのプラザ」やホテルオー ブンに伴い高架下の利活用を

議員

今年夏、「におどりプラザ」や民間ホテルがオープン予定であり、三郷中央にさらなるにぎわい創出が期待される。近隣住民や駅利用者等にとっての利便性向上のため、つくばエクスプレス高架下は飲食店などの商業利用に限らず雨天時でも使用できる利点を活かし、ボール遊びやフリーマーケット、グラウンド・ゴルフやドッグランとしての活用ができるのではないかと。また、オープン型宅配便ロッカーを設置することはできないか。

まちづくり推進部長 夏に「におど



建設が進む三郷中央におどりプラザ

りプラザ」や民間ホテルがオープンすることに伴い、高架下の有効活用はさらなるにぎわい創出につながるものと考えている。また、宅配便ロッカーの設置は沿線駅でも整備が進んでいる。駅利用者等の利便性が向上でき、荷物の再配達を取り巻く社会的課題の解決や環境負荷の低減を図ることも期待されることから鉄道事業者と協議を進める。

その他の質問

情報発信など。

小学校・中学校の インクルーシブ教育について

議員

学校には、勉強を学ぶと同時に、社会を学ぶという役割もある。インクルーシブ教育の効果は、子どもたちなりに、障がいのある子のサポートを考えることや、将来的に社会で必要な「共生」、ともに生きるということを学校の中で自然と体感することにある。現代は、様々な背景を持つ人たちが、互いを理解し合いながら暮らす社会を目指す時代であり、多様性を認め合う社会をつくるために、子どもどものときから、インクルーシブ教育を受けることは、とても重要と考える。三郷市の現状と今後について伺う。

教育長

発達障がいを含め、障がいのある子どもたちは増加傾向にある。特別支援学級と通常学級に在籍する児童・生徒の交流及び共同学習も進めており、運動会や部活動、校外学習等は障がいの有無にかかわらず、一緒に取り組んでいる。今後一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を保障するため、本人、保護者と十分な教育相談、就学相談を行いながら、すべての子どもたちが夢を持って自立と社会参加を目指す教育の充実に努めていく。

その他の質問

手話啓発支援。

高松市の丸亀町商店街に学ぶ 市内商店街の振興と再開発は

議員

過日、高松市の丸亀町商店街の取り組みについて視察をしてきた。民間主導の再開発の取り組みで、良き成功例と考える。三郷市の商店街の振興と再開発について学べることで、商店街活性化のための方針は。

まちづくり推進部長

高松丸亀町商店街の取り組みは、地権者自身が主導権をもつ民間主導の再開発事業である。今後、市としてこのような事業をはじめ、既存のインフラを



高松市の丸亀町商店街

活用した既成市街地や商店街のリニューアルなど様々な事例を調査し、地域の特色に応じた開発手法の研究を進め、にぎわいが継続するまちづくりに努める。

産業振興部長

市として商店街を活性化するため、商店会が行う販売促進・共同売り出しに協力するほか、個人商店などが対象となる「三郷市がんばろう企業応援事業補助金」「三郷市きらりとひかれ起業家応援事業補助金」などの各種補助制度の実施や、経営力向上などのセミナーの開催、制度融資を行っている。これら支援策を継続し、より有効な支援策について、商工会などの関係機関を交えて、商店会と一緒に検討していく。

その他の質問

教育問題。

「ご遺族支援窓口」の設置を

議員 本市はまちづくりの進展とともに人口が増加しているが、亡く

なられるかたも年々増加傾向にある。大事な家族や大切な人が亡くなることは大変な悲しみである。しかし、必ず必要なのが行政などの手続きである。亡くなった人の性別、年齢などによって様々違いがあるが、税金、健康・介護保険関係などの手続きや年金、預貯金、相続などで、住民票、戸籍謄本など、多くの書類が必要となる。そこで、スムーズに手続きができるよう、総合的な相談窓口とした「ご遺族支援窓口」の設置について伺う。



市民生活部長 ご遺族が手続きを

スムーズに行えるよう、各申請の窓口や必要な持ち物などを記載した文書を用意し、市民課において死亡届の提出時にお渡ししている。今後は、よりわかりやすい案内ができるようホームページの記載内容を見直し、関係部署と連携を行うことで不安の解消に努める。

福祉部長 ふくし総合相談窓口において、ご遺族より相談を受けた際には、各種制度に精通した相談員が、関連する窓口へ直接案内をしている。

その他の質問 ごみ問題。

消費税増税中止を国に

要望できないか

議員 消費税の増税は家計を直撃し、消費不況をさらに深刻にし、暮らしも経済も壊す大増税である。低所得者ほど負担の重い消費税の増税は「アベノミクス」で広がった貧困と格差をさらに拡大する。増税必要の立場の学者や経済人からも「こんな経済情勢で増税を強行しているのか」という声もあがっている。

また、増税の影響緩和とする政府の景気対策は、異常で奇々怪々なもの

で、でたらめな「ばらまき」である。複数税率に伴うインボイス導入は、年間売上が数百万円しかない、消費税免税事業者に新たな税負担と事務負担を課し、最大で1000万人にも影響が及ぶ。国に対して増税の中止を求めるべきではないか。

市長 国は、過去の消費税率の引き上げ時の経験を踏まえ、国民生活や経済への影響を及ぼさないよう各種対応施策を講じていると認識している。消費税率の引き上げによる増収分は、すべて社会保障の財源とすることとされており、社会保障の充実、安定化が期待される。今後も本市に与える影響を含め、国の動向を注視していく。

その他の質問 地域経済問題など。

ほっとけない！健康管理と

医療費抑制の対策は

議員 近年、医療費の伸びにより財政をひっ迫させている状況の中、本市の状況と抑制策は。また、セルフメディケーション税制は医療費抑制に効果があるのでは。

市民生活部長 平成29年度、国民健康保険加入者の医療費の総額は約129億4400万円で、1人あたりの医療費は約34万700円。加入者が減少しているため総額は減少傾向にあるが、1人あたりの医療費は毎年増加している。特定健康診断やがん検診の受診率向上をはじめ、健康づくり等を推進し、医療費削減に取り組む。また、ジェネリック医薬品の使用割合が、平成29年度が78.8%で県内市町村中1位であり、今後も周知普及に努める。

福祉部長 平成29年度、後期高齢者の医療費の総額は126億円である。1人あたりの医療費は約88万円で、ここ数年ほぼ横ばいだが、被保険者が増加しているため、総額は増加傾向にある。複数回にわたる受診を避ける「適正受診」の呼びかけや、ジェネリック医薬品の原則使用など医療費の抑制に努めている。

財務部長 セルフメディケーションは、医療費の抑制につながり、納税義務者の税負担の軽減にも有用な制度であり引き続き周知する。

セルフメディケーション

税 控除 対象

セルフメディケーション
対象商品のマーク

買い物弱者の支援について

議員 買い物弱者とは日常の買い物に困難な状況に置かれている人々を指すが、こうした方々は現在全国で700万人にもものぼるとされている。本市においても商業施設が近隣にないかたや団地の階段の昇り降りがづらい等の理由から買い物弱者となってしまうている。また、高齢者が予測される。こうした方々に対して経済産業省発の買い物弱者応援マニュアルに則った方針、方策によって移動販売車による買い物支援など、今後様々な形で支援していただきたい。

福祉部長 今後見込まれる後期高齢者の増加に伴い、単身世帯や互いに介護を必要とする高齢者のみの



世帯に対する日常生活支援の必要性は高まっていくものと認識している。まずは、第8期高齢者保健福祉計画策定のためのアンケートにおいて、65歳以上の買い物弱者に関する問いを充実させ、ニーズを把握する。さらに、地域住民を主体とした協議体においても、買い物支援に関する課題を提案し、具体的な事業の検討を図っていきたい。

その他の質問 視覚障がい者支援など。

高齢者への補聴器補助制度の創設を

議員 高齢化に伴い、耳が聞こえにくくなって仕事や社会生活に困る高齢者の難聴者が増えている。しかし補聴器は平均価格が15万円と高額で「高くて買えない」と悲鳴があがっている。2016年6月議会でも質問したが、市長は「高齢者の補聴器使用は積極的な社会参加に役立ち、閉じこもりを防ぐ」と補聴器の必要性について言及していた。東京都内では23区中8区が独自の補助制度を実施しており、県内でも実施している自治体がある。本市での補聴器補助制度の創設について

のように検討されているのか伺う。

市長 聴力が低下した高齢者は、周囲とのコミュニケーションが取りにくくなり、社会との関係が疎遠になりやすい。高齢化社会において、よりよいコミュニケーションの確保は積極的な社会参加を促すこととなり、閉じこもりの防止などに役立つものと考えられる。既に実施している自治体の事例等も含め、引き続き課題を研究していく。

その他の質問 教育問題など。

スマートインターチェンジ大型車の対応事業について

議員 新年度予算では、スマートICの大型車対応を先行運用するための予算が計上されているが、運用されれば大型車の交通量が増加すると考えられる。今でさえ周辺道路は大型車の通行量が激しく、住環境のさらなる悪化が懸念される。スマートICの大型車対応事業は、都市軸道路や(仮称)三郷流山橋の供用に合わせて運用すべきである。よって、スマートICの大型車対応事業については凍結・延期を求める。また、広く住民を対象とした住民説明会を開催し、周辺道路の交通



三郷料金所スマートIC

調査や環境影響調査も行ってほしい。

企画総務部長 現在、住民説明会の要望を踏まえ、水戸方面入口側の市道1313号線の一部で歩行者と車道を分離する安全対策等の整備を進めている。大型車対応事業は、周辺の物流等企業の高速度道路へのアクセス向上と、大型車が市内道路を通行しなくなることによる渋滞緩和が期待される。また、「フルインター化」も新橋との同時供用を目指し、今後、近隣住民への影響等を考慮しながら国等関係機関と協議を進め、住民説明会も適切な時期に実施していく。

その他の質問 水道事業など。

保育問題各方面への対応は

議員 ①保育の無償化について、周知は。②食料費や送迎費は保護者負担が残るが、市独自の負担軽減策は。③認可外施設等への市の関わり方と支援策は。④保育所等整備推進について、三郷市の計画と保育施設数の推移は。⑤保育士の処遇改善として、公定価格と加算の是正や市独自の補助増額は。

市長 ①10月からの円滑な事業実施に向け、適切な対応を図っている。②副食費等の補助については周辺自治体の例を研究していきたい。③今年度、全国市長会を通じて、国に対し公定価格における地域区



市立高州保育所

分の見直しの要望を行っている。また、市独自の補助として、民間保育施設に勤務する正規職員を対象とした市単独の給与改善費を支給するなど、処遇改善を図っている。

子ども未来部長 ③年1回、運営状況の報告を求めるとともに、立入調査や改善指導を行っている。④「三郷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育施設等の整備を推進しており、31年は4月1日時点で28施設である。⑤公立及び民間保育施設のすべてにおいて、3歳児の配置基準を15対1にするなどの公定価格上の加算認定を取得し、保育の質の向上を図っている。

その他の質問 災害問題など。

繰越明許圧縮を 事務事業評価の対象に

議員 昨年3月議会答弁で、「契約遵守事項が事務事業評価になじむかどうか議論があるところである」との答弁があった。どのような機関での議論が必要であり、審議会・協議会・審査会、調査会などはあるのか。また、公共工事にかかる繰越明許圧縮を事務事業評価の対象に掲げ、積極的に取り組むよう関係各部

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

傍聴日時： 議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。

傍聴場所： 市役所の7階にあります。

※議会傍聴で手話通訳または要約筆記を希望される場合は、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局までお申し込みください。
(☎048-930-7768)

【令和元年6月定例会の予定表】

月 日	曜日	会議別
6月3日	月	本会議
6月5日	水	
6月6日	木	委員会
6月11日	火	本会議 (一般質問など)
6月12日	水	
6月13日	木	
6月14日	金	

※正式には、市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

●次回の定例会は6月に開かれます。
本会議・委員会ともに午前10時から開会となります。

市長 署に指示することを願う。

本市の事務事業評価では、特に審議会等の機関はない。事務事業評価の本質は、創意工夫を凝らして、事業の成果や効率性を高めるよう、自ら改善し続けていくことがそのあり方であると考えられる。公共事業等については、国等の補助金額の内示スケジュールなど、様々な要因があり繰越明許となっているものもある。各種事業の実施にあたっては地域経済の循環や市内事業者の育成の観点を含めて、それぞれの事業成果の向上に努めて実施していく。

◆議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページ又は、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお3月定例会の会議録は5月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますので、ご覧ください。

URL <http://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索

3月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○=賛成 ×=反対 △=棄権

号	件名	結果	21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派	維新
1	三郷市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○
2	三郷市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○
3	三郷市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○
4	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	×	○	○
5	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
6	三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
7	三郷市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
8	三郷市振り込め詐欺等の被害防止に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○
9	平成30年度三郷市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○
10	平成30年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○
11	平成30年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○
12	平成31年度三郷市一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
13	平成31年度三郷市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
14	平成31年度三郷市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
15	平成31年度三郷市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
16	平成31年度三郷市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
17	平成31年度三郷市上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
18	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
19	副市長の選任について	同意	○	○	○	△	○	○
20	三郷市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
21	県民投票の結果を尊重し、沖縄・辺野古基地建設を直ちに中止することを求める意見書	否決	×	×	×	○	×	×
22	消費税の10%への増税中止を求める意見書	否決	×	×	×	○	×	×
23	東海第二原子力発電所の再稼働と期間延長の撤回を求める意見書	否決	×	×	×	○	○	×
1	介護職員の処遇改善が必要である意見書を国に提出することを求める請願書	不採択	×	×	×	○	○	×
2	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書を国に提出することを求める請願書	不採択	×	×	×	○	○	×

※このほか報告4件が提出されました。

会派名(人数)	所属議員名
21世紀クラブ(6)	岡庭 明、菊名 裕、市川 文雄、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、柴田 吾一
政志会(5)	篠田 進、武居 弘治、佐藤 裕之、佐々木 修、野村 浩之
公明党(5)	中野 照夫(議長)、酒巻 宗一、鈴木 深太郎、佐藤 睦郎、鳴海 和美
日本共産党(4)	稲葉 春男、工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
市民派クラブ(1)	村上 香代子
日本維新の会(1)	渡邊 雅人

※会派の人数などは議案採決時のものです。また、議長は採決に加わっていません。

人事案件

(再) 富田 耕司氏
(茨城県つくば市)

(新) 石出 弘氏
(鷹野五丁目)

○ 平成31年3月定例会
副市長として選任することに
同意しました。

議会あれこれ

【陳情を受理】

○3月定例会では陳情4件を受理しました。

【全員協議会を開催】

○2月21日、三郷市南部地域拠点整備計画について協議しました。

【視察研修を行いました】

- 「21世紀クラブ」及び「日本維新の会」…1月30日に鹿児島県霧島市の「タブレット議会の運用」、31日に鹿児島市の「公共交通不便地対策事業」、2月1日に始良市の「始良市子育て基本条例」について。
- 「政志会」…2月5日、6日に香川県高松市の「高松丸亀町商店街再開発事業」、7日に徳島県徳島市の「子育てほっとスペースすきっぷ」について。
- 「公明党」…2月18日に兵庫県姫路市の「まもりんピック姫路」、19日に京都府長岡京市の「バンビオ1番館(総合交流センター)」、20日に京都市の「京都市立京都御池中学校・複合施設」について。

【他市からの行政視察がありました】

○「日本一の読書のまち推進事業(電子図書館)」について…2月1日に富士見市議会21・未来クラブ。

【議員の辞職及び所属会派変更】

- 2月28日付で逢澤圭一郎議員(21世紀クラブ)から、議員を辞職したい旨の辞職願が提出されました。閉会中のため地方自治法第126条ただし書きの規定により、同日、議長がこれを許可しました。
- 4月1日付で、渡邊雅人議員が、日本維新の会から21世紀クラブに所属会派を変更しました。

【議会に関する議案を可決】

○三郷市議会委員会条例の一部を改正する条例…常任委員及び議会運営委員の任期は2年となっていますが、任期満了前に改選を実施できるように改正しました。

市民の声 議会へ

市民要望としての請願が3月定例会に、2件提出されました。結果をお知らせします。

請願第1号 介護職員の処遇改善が必要である意見書を国に提出することを求める請願書

請願者 東京民医連労働組合健和会支部執行委員長 小倉 喜子
審議結果 不採択

請願第2号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書を国に提出することを求める請願書

請願者 東京民医連労働組合健和会支部執行委員長 小倉 喜子
審議結果 不採択



野村徹議員逝去

野村徹議員が3月5日に逝去されました。故人の生前の活躍を偲び、ご冥福をお祈り申し上げます。

〔略歴〕
昭和34年3月8日生(享年59歳)
平成21年8月、市議会議員に初当選。以来、議員在職3期9年。議会運営委員会副委員長、総務常任委員会副委員長、建設水道常任委員長などを歴任。

わたしも ひとこと

環境に優しく高齢者が安心して 住めるみさと団地

無職 80代 彦成在住

私は、みさと団地ができて間もなく入居しました。その時は小学校も中学校もできておらず、原っぱだったので自分たちで整地して駐車場に使用してしていました。

団地のなかには公園ももちろんあり、桜の木やイチョウなどの樹木もいっぱいあり、環境が良かった団地でした。しかし、ここ数年は木々が切られ駐車場だらけで環境がすごく悪くなっているように感じます。

高齢者も増えて公共施設に行くのも大変です。できれば、ミニバスが団地の中を通過して公共施設に行けるようになれば、高齢者の人たちに喜ばれると思います。そんな私も現在84歳です。

川の流れ

自営業 50代 新和在住

三郷市は川に囲まれています。中川、江戸川、大場川などたくさんの川が通っています。昔は陸の孤島と呼ばれていましたが、今は交通の便が急速に発展し、もう、そのように呼ばれることは無くなりました。ただ、川があるということはその川を渡らなければ、その先には行けません。そのため、橋によっては車が集中し渋滞も頻発します。私は移動手段が車なので、渋滞は少々困ります。渋滞が一切無く、まるで川の流れのようにスイスイと進めたら、どんなに心地のよいことでしょう。数年前、新中川橋が新設され、中川を渡り八潮市へ行くための経路の渋滞が解消され、より便利になりました。とても嬉しく思います。

今後は、新流山橋の完成が楽しみです。



交通安全教室（彦成小学校）

みさと市議会だより（第177号）
発行 三郷市議会
編集 議会だより編集委員会
〒341-8501
埼玉県三郷市花和田648-1
TEL 048-930-7768（直通）
FAX 048-953-1358
URL: <http://www.city.misato.lg.jp>